

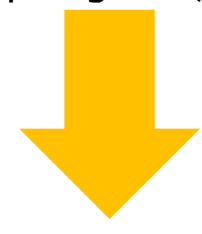
岐山高等学校

自然科学部 生物講座 魚班

高校生ボランティアアワード2021

実現しよう、外来魚の命のサイクル

岐阜には、長良川というとてもきれいな川が流れており、「清流 長良川」と呼ばれている。長良川では、鵜をあやつって鮎を捕る鵜飼という漁法が行われている。しかし、最近鵜飼で鮎以外の魚「オオクチバス」や「ブルーギル」といった外来魚が捕れているのだ。この外来魚は、動物食性でよく食べるため、日本固有の在来種を食べてしまう。このような外来魚が住んでいる長良川は果たして「清流」と呼べるのだろうか。そこで、長良川に住むオオクチバスとブルーギルを減らすためにさまざまな活動をしている。具体的な活動は次の3つである。



- ①外来魚の生態の研究
- ②出張授業の実施
- ③地域ぐるみのイベント計画
- ④外来魚の調理方法の模索



大量のオオクチバス

地元の漁師さんに協力してもらい、刺し網漁を行った

鵜飼



長良川



※岐阜市漫遊より引用

〔テーマとする外来魚〕



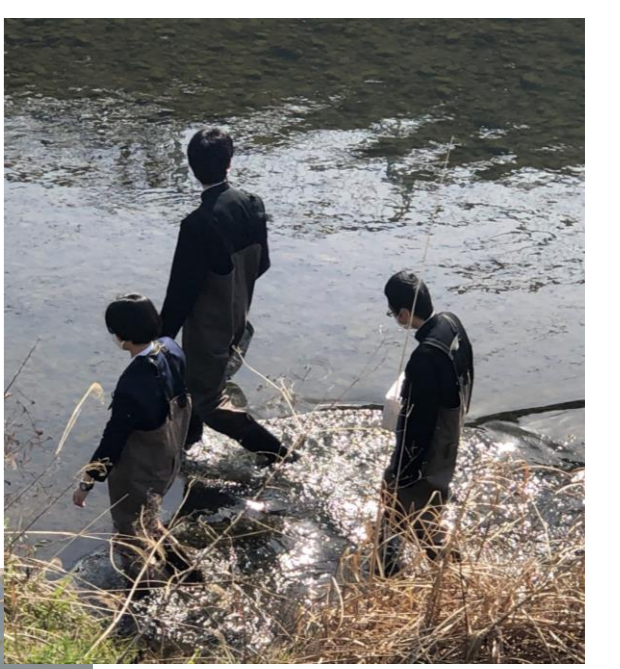
ブルーギル



オオクチバス

①外来魚の生態の研究

- ・産卵床の製作、設置
オオクチバスを対象に、数か所で実施
- ・季節変化による魚の動き
釣りをして、傾向を掴む
- ・生息場所の調査
定期的に採集を行っている
- ・体色変化
魚の体色が変わる要因を調べる



②出張授業の実施

外来種はたくさんいるが、あまり知られていない。そこで、毎年近くの小学校で出張授業を行っている。どんな外来種がいるのか、その外来種の与える生態系の影響などをプレゼンにして説明した。また、ただ殺処分するのではなく、活用して外来魚を減らす方法を一緒に考えた。さらに、ブルーギルやブラックバス、もっと身近なアメリカザリガニやミシシッピアカミミガメを実際に見てもらった。



③地域ぐるみのイベントの計画

ブルーギルは長良川にたくさん生息しているが、その存在を知らない人がほとんどである。そこで、地域の小学生を対象としてブルーギルを釣って食べるイベントを計画した。このような地域ぐるみのイベントを行うことで、認知度を高め、外来魚を食べるということを身近に感じてほしい。募集をして、参加者の決定をし、開催直前までいったが、コロナウイルスの影響で実施できていない。

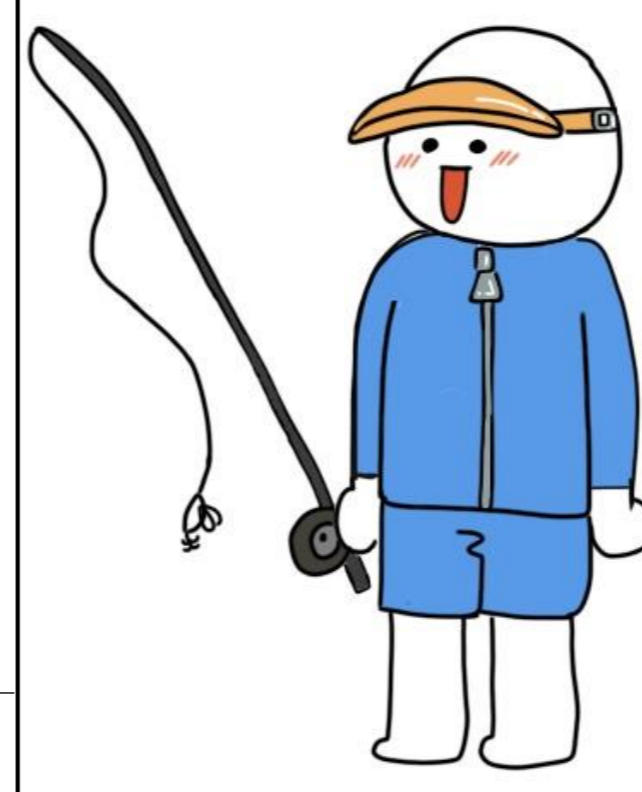
釣って食べよう！外来魚

日時：12月26日（土）
時間：9：00～12：00
場所：長良橋下
(鵜飼い観覧船乗り場付近)

注意！
1、マスクを絶対しよう！！
2、密にならないようにしよう
3、走る・水辺に近づくなど危険な行動をしない！

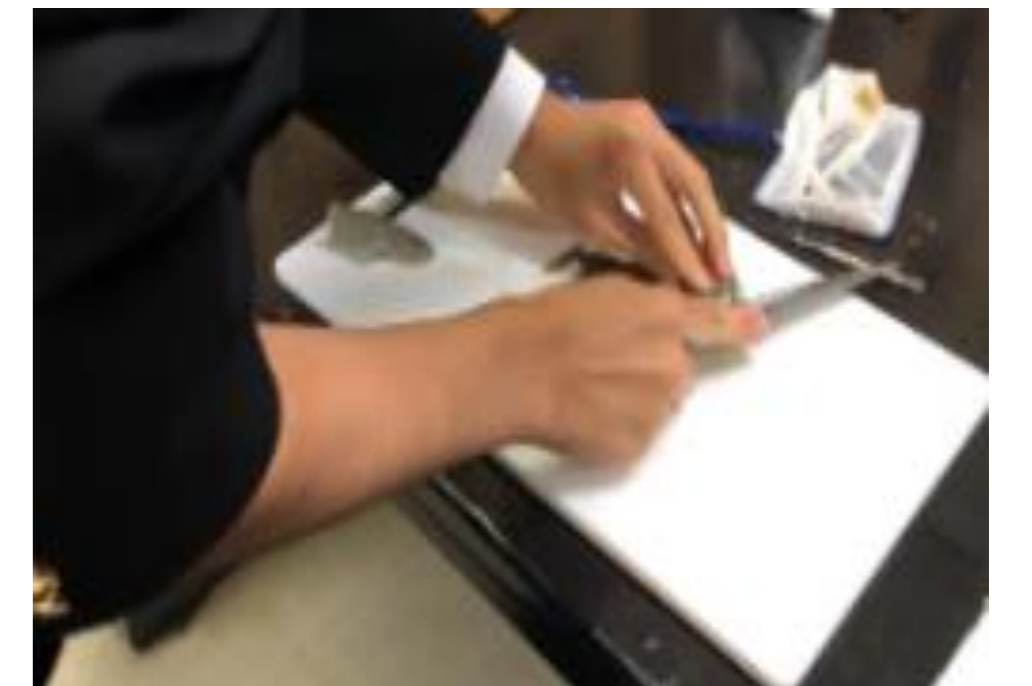
・釣りの道具は岐山高校で用意します ・参加人数は10人
・みんなが釣った外来種（ブルーギル）は焼いて食べます！
・暖かい服装で来よう

釣り大会に参加を希望します
__年__組 氏名 _____ 保護者氏名 _____



④外来魚の調理方法の模索

オオクチバスやブルーギルの命を無駄にせず減らしていく1つの活動として外来魚の調理、実食を行っている。揚げたり、焼いたりして一番美味しく食べられる方法を模索している。近年は新型コロナウイルス感染を懸念して、活動は休止状態になっているが、収まり次第再開したい。



調理方法	良い点	改善点
唐揚げ	臭みが気にならない	本来の食感が損なわれる
塩焼き	身のフワフワ感が味わえる	少し臭みを感じる

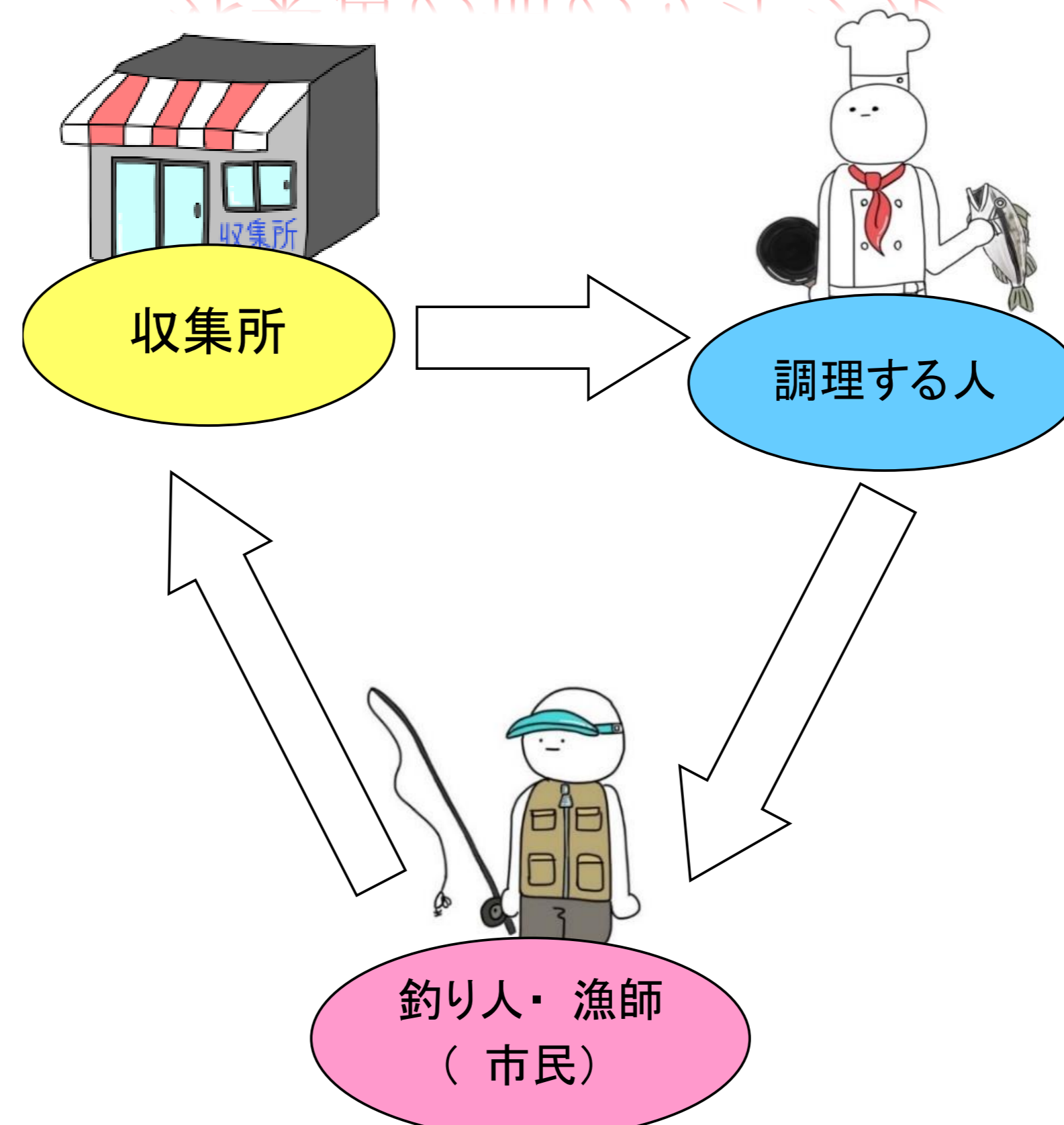
今後の展望、夢など

釣り人は、釣った外来魚をその場で絞め、収集所に持って行く。その場所で外来魚を引き取ってもらい、釣り人は、報酬をもらう。収集所はお店に魚を提供し、それをお店が加工し、販売する。それをみんなが買って食べ、命を無駄にしないサイクルを実現する。私たちは3つの役割を果たすことはできないため、仕組みを取り持つネゴシエーターの役割を担いたい。このサイクルが実現したら、外来魚をただ殺処分するのではなく、有効活用して減らすことができる。さらに、SDGsの17の目標の1つ「陸の豊かさを守ろう」にもつながる。しかしこのサイクルにはいくつかの課題がある。

【課題】

- ・食品衛生上の問題
- ・収集所を運営するのはどこか
- ・釣り人や釣具店の協力を得ること
- ・調理人を捜すこと
- ・運営の金銭的な問題

外来魚の命のサイクル



【自然科学部生物講座魚班】



活動団体プロフィール

- ・今年度より生物部から自然科学部生物講座へと改称された。
- ・自然科学部生物講座は、魚班11名、鱗種目班4人、カワナ班4人、タマネギ班6人の計25人、4つの班に分かれて活動している。